

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	事業名		部名	環境産業部
	04002-2	一般事業(保健衛生事業)		室名	環境保全室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造		財 会計	一般会計
	基本施策	06:住環境の向上		務 款	衛生費
	施策の方向	02:安全・快適な住環境の整備		科 項	保健衛生費
系	戦略プロジェクト			目	保健衛生総務費

② 目的・概要	対象	市民
	目的	犬及び猫の避妊手術及び去勢手術に要する経費の一部を助成することにより、犬及び猫がみだりに繁殖することなく、適正な飼養を受けるとともに、市民の清潔で快適な生活環境を確保することを目的とする。

			24年度	25年度	26年度	
③ 指標	① 活動	名称 啓発事業	計画値			
		補足 ペットの適正飼養や助成事業等について、広報等による啓発回数	実績値		3	2
			単位		回	回
	② 活動	名称 苦情対応件数	計画値			
補足 野良犬、野良猫等に対する苦情が寄せられた件数		実績値		7	3	
			単位	件	件	
④ 成果	① 補足	名称 助成件数 避妊/去勢	計画値			
		犬及び猫の避妊及び去勢の手術に対し、助成を行った件数	実績値		145/96	122/85
			単位		件	件

年度計画		年度実績	
		避妊手術及び去勢手術に要する経費の一部を助成することにより、犬及び猫によるみだりな繁殖の抑制につなげた。苦情については、適切な飼養について等のパンフレットを配布するなどし、住民の理解を得ることができた。 【助成実績】 メス犬 33件 オス犬 40件 メス猫 89件 オス猫 45件 合計 207件	

		計画額	予算額	決算額				
④ 事業の計画・実績	事業費	事業費	455	405	人件費	総人件費 ①	1,109	
		国庫支出金				一般職員人件費 ②	740	平均給与額×③
		県支出金				所要人員 ③	0.10	
		地方債				臨時職員人件費 ④	369	
		その他				受益者負担額 ⑤		
		一般財源	455	405		受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
	再掲	翌年度への繰越額						
	前年度からの繰越額							
	総人件費		①	1,109				
	総コスト		⑥	1,514				

【事業の成果】	総合判定
避妊手術及び去勢手術に要する経費の一部を助成することにより、犬及び猫によるみだりな繁殖の抑制につなげた。苦情については、適切な飼養について等のパンフレットを配布するなどし、住民の理解を得ることができた。	B まずまず進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】
	野良猫に対する避妊等手術については、住民の自発により少数ではあるが行われているものの、市域全体の野良猫すべてに対応する事業実施は困難であることから、野良猫と住民がうまく共生していけるような啓発を行っていくことが重要である。また、手術に対する飼い主の意識を上げるための方策を検討していくことも必要である。
	【改善の方向性】
	野良猫に限らず、犬及び猫への対応については、助成事業や犬猫の飼養の仕方などについての啓発を行い、引き続き住民の理解を求めていく。苦情対応については、鈴鹿保健所と連携を図り行っていく。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 環境保全室 谷口 文子
--------------	---------	----------------------